

➤ 24日 火曜

ルカ

1:39 それから、マリアは立って、山地にあるユダの町に急いで行った。

1:40 そしてザカリヤの家に行って、エリサベツにあいさつした。

1:41 エリサベツがマリアのあいさつを聞いたとき、子が胎内で躍り、エリサベツは聖霊に満たされた。

1:42 そして大声で叫んだ。「あなたは女の中で最も祝福された方。あなたの胎の実も祝福されています。

1:43 私の主の母が私のところに来られるとは、どうしたことでしょう。

1:44 あなたのあいさつの声が私の耳に入った、ちょうどそのとき、私の胎内で子どもが喜んで躍りました。

1:45 主によって語られたことは必ず実現すると信じた人は、幸いです。」

1:46 マリアは言った。「私のたましいは主をあがめ、

1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

1:48 この卑しいはしために目を留めてくださったからです。ご覧ください。今から後、どの時代の人々も私を幸いな者と呼ぶでしょう。

1:49 力ある方が、私に大きなことをしてください。その御名は聖なるもの、

1:50 主のあわれみは、代々にわたって主を恐れる者に及びます。

1:51 主はその御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散らされました。

1:52 権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。



1:53 飢えた者を良いもので満ち足らせ、富む者を何も持たせずに追い返されました。

1:54 主はあわれみを忘れずに、そのしもべイスラエルを助けてくださいました。

1:55 私たちの父祖たちに語られたとおり、アブラハムとその子孫に対するあわれみをいつまでも忘れずに。」

1:56 マリアは、三か月ほどエリサベツのもとにとどまって、家に帰った。

エリサベツはマリヤと同じく、主からの御心として子を宿しました。聖霊による救い主とは違いますが、それでも主のみわざであることには違いがありません。このように共通することを分かち合う信仰の友はとても励ましになるのです。訪問し会って、または連絡し合って分かち合い祈り合いましょう。

主のみわざによって身ごもるのだと確信したマリアは大いに励まされて、賛美しました。それは主への信頼と希望に満ちたものです。マリアにとっては結婚前に妊娠するという事は身の危険をも意味しましたが、それでも主を信頼して歌ったのです。

これに対して、もしも自分の願いばかりを求める信仰であるとしたら、心は疑心暗鬼になるばかりです。主のみこころがなることを喜んで、本当の平安を受けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

